



日本国際飢餓対策機構 (Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981 年にひとりの日本人がインドシナ難民救援に参加したことを契機として誕生しました。以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、18 ヶ国 55 の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころとからだの飢餓」に応える働きをしています。

国際協力カレンダー 「地球家族」2012 年版



世界 7 カ国の民間援助団体 (NGO) が共同で制作しているカレンダーです。開発途上国の人々と暮らしが、生き生きと美しく表現されています。2012 年版では新たに「卓上型」も加わりました。

※発送は 10 月 1 日からとなります。
【壁掛け型】 縦約 54cm×横 36cm
フルカラー中綴 1 部 1,050 円 (送料別)
【卓上型】 縦約 12.5cm×横 16cm
フルカラー 7 枚、525 円 (送料別)
ぜひお求めください！ 壁掛け型カレンダーは、名入れも承っております。
お申し込み、お問い合わせは
株キングダムビジネス
TEL (072) 940-6814
FAX (072) 940-6824
ウェブサイトからお申し込みもできます。
<http://www.kbwin-win.org/>

東日本大震災 緊急支援募金 感謝致します

集計: 98,027,837 円
(8 月 10 日現在、国内と海外の合計)
内訳 国内 56,632,286 円
海外 41,395,551 円

●募金の送り先は
郵便振替 00170-9-68590
日本国際飢餓対策機構
記入欄に「東北地震」と明記。

★ご協力を感謝します★皆様に飢餓対策ニュースをお届けするために、毎月、ひばり障害者作業所 (八尾市)、生活愛 (大阪市など)、そして関西一円のボランティアの皆様が発送作業のご協力をして下さいます。ありがとうございます！

■発行者	岩橋竜介	大阪	〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL (072) 920-2225 FAX (072) 920-2155
■発行所	一般財団法人 日本国際飢餓対策機構	東京	〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 517 号室 TEL (03) 3518-0781 FAX (03) 3518-0782
		愛知	〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞 3-8-10 愛知労働文化センター 2F TEL (052) 731-8111 FAX (052) 731-8114
		広島	〒731-0103 広島市安佐南区緑井 2-21-23 201 号 TEL (082) 831-1214 FAX (082) 877-3961
■郵便振替	00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構 ※支援金は随時受け付けております。	沖縄	〒901-0156 那覇市田原 3-8-1 ユリ香ハウス 201 号 TEL (098) 859-4585 FAX (098) 859-4540
		東北	〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1-13-6 エマオ 2 階 E TEL (022) 217-4611 FAX (022) 217-6651

ハンガー・ゼロ・サポーター大募集中！

今すぐ▶▶▶ 各種支援の お申し込み ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

オアシス
復興支援の
お茶っこハウス

- ☐ ハンガー・ゼロ・サポーターとして協力します。
毎月 () 口、協力します。(1 口 1,000 円)
- ☐ JIFH 会員になり毎月定期的に財的協力をします。
毎月 () 口、協力します。(1 口 500 円)
- ☐ 「世界里親会」に協力します。
説明書、里親会入会申込書を送ってください。
- ☐ 海外派遣スタッフを支援します。
毎月 () 円 () スタッフ指定
- ☐ 海外派遣スタッフを支える会の会員になり、
協力します。毎月 () 口 (1 口 1,000 円)
- ☐ 郵便自動引落の申込書を送って下さい。

フリガナ
氏名: _____ 男・女
〒 _____
フリガナ
住所: _____
_____ (電話) _____
▼申込日: _____ 年 月 日▼

FAX・072-920-2155

東日本大震災で大規模な災害に見舞われた宮城県石巻市に 8 月 1 日、地域復興支援センター「お茶っこハウスオアシス」が開設されました。同センターは、当機構とともに被災地支援活動を継続してきた本郷台キリスト教会 (横浜市) から生み出さ



れた一般財団法人オアシスが運営。地域に根ざした復興支援を行うために、人々が気軽に集まれる交流スペースの提供、ボランティア派遣、支援活動の調整などを行います。「これまで物資配布や炊き出しなどの支援を続けてきましたが、これからは被災地の真中にあるこのセンターを活用して、よりきめ細かいニーズにも応えていきます」(池田恵賜オアシス事務局長)
当機構は復興支援活動の一環として同センターの改修工事に大工さんボランティアらを派遣しました。

ハンガーゼロ・サポーターのお申し込み拡大中です。運動への参加を感謝いたします。



日本国際飢餓対策機構

2011 No.254

9

飢餓対策 News

2011 世界食料デー特集
迫り来る食料危機
…ハンガーゼロの世界を目指して

3 月 11 日の東日本大震災から、半年になりました。この時間が早かったのか、遅かったのかは人それぞれの感じ方があると思います。

今回の地震と津波の被害で 2 万人を超える方々がお亡くなりになったり、未だ行方不明の状態にあります。震災の直後はニュースなどで、死者や行方不明者の数を注意してみていました。しかし、今は 2 万人超というひとくくりの数字で覚えているだけです。しかし、愛する者をなくされたご遺族にとっては、それは 2 万人ではなく、一人なのです。かけがえのない、愛する一人です。世間では時間の経過とともに、数字の中にこれらの大切な命が埋もれてしまっているようです。そして、このことは日本のことだけではなく、今の世界に目を向けても言えることではないでしょうか。

今、世界人口 69 億人のうち約 10 億人が飢餓と貧困に苦しんでいます。1 日に約 2 万 5 千人が飢餓のために亡くなっています。1 分間に 17 人。そのうち 12 人が子どもです。この状況は飢餓対策ニュースでも何度も紹介してきました。しかし、どうでしょう。この数字の中に大切な一人の命が、埋もれてしまっているのではないのでしょうか。

また、アフリカのソマリアでは過去 60 年で最悪の干ばつに見舞われ、370 万人に緊急食糧支援が必要で、64 万人の子どもが深刻な栄養失調状態にあります。ジョゼット・シーラン WFP (国連食糧計画) 事務局長がソマリアを訪問し、生きるために隣国へ歩いて避難する途中で、母親たちが飢えて衰弱したわが子を置いていかねばならなかったり、道中で死んで行くのを何もできないでいるという現状を、ホームページで報告しています。ある人々には 64 万人。ある人にとっては、大切な一人。愛するわが子です。

私一人が何万人もの人を助けることはできません。しかし、

自分の愛する子どもや家族を思うように、一人の人を助けるために、私一人が何かをすることはできるはず。誰か一人の善い隣人となることはできます。神様が創造してくださった、大切な一つの命。イエス・キリストが命がけで愛して下さったほど価値ある命。そのひとつの命のために、あなたも善い隣人となって、共に生きていきましょう。

日本国際飢餓対策機構 理事長 岩橋竜介

1 分間に 17 人 (うち 12 人が子ども) ・1 日に 2 万 5 千人 ・1 年間では約 1,000 万人が、飢えのために生命を失っています。



東アフリカで深刻な食糧不足 緊急支援にご協力ください



ミールバックの配給を受ける子（ケニア）

》数万人が餓死！危険にさらされる子どもたち《

ソマリア・ケニア・エチオピアなど「アフリカの角」と呼ばれる地域では、干ばつによって深刻な食糧危機が起こっており、1,300万人を超える人々が、飢餓に苦しんでいます。

特にソマリアでは過去60年で最悪の干ばつと、紛争による食糧支援の不足によって、370万人が餓死の危険にさらされています。国連機関は、ソマリア南部が最悪レベルの飢餓を意味する「飢きん」に陥っていると発表しました。これは子どもの30%以上が急性栄養不良に陥り、1万人当たり毎日2人以上が死亡している状態にあるということです。南部では子どもの半数以上が極度の栄養失調によって骨と皮のようになり、泣く力もないと報告されています。

人々は食料と水を求めて隣国のケニアやエチオピアに難民として流入、国境付近の難民キャンプは飽和状態になっています。既に干ばつと食料高騰によって食糧危機に陥っているケニアでは、さらに

50万人の難民をかかえ、食糧援助を必要とする人々が350万人に達するといわれています。国際社会は対応を急いでいますが、内戦でソマリアの治安は極度に悪化しており、支援には多くの障害があります。

現地パートナーと緊急支援

この事態に対し、日本国際飢餓対策機構はパートナー団体の国際飢餓対策機構、Stop Hunger Now（ストップ・ハンガー・ナウ）、およびバルナバス・ファン

ドと協力して緊急援助活動を行います。国際飢餓対策機構は、ソマリアからの難民の流入で食糧危機が悪化しているケニア北東部とエチオピア南部のソマリア国境地域で、すでに食糧支援と予防接種を行っています。又バルナバス・ファン

ドは、エチオピア南東部のソマリア国境地域で小麦粉の配給を行っています。一方、ストップ・ハンガー・ナウ（SHN）は、ソマリア国内各地の難民キャ

世界から励まされた私たち

アフリカは私たちにとって遠い国かもしれませんが。しかし東日本大震災に際して、アフリカを含む世界各国から数多くの支援が寄せられたことを思う時、そしてその支援にどれほど励まされたかを知っている私たちが、世界の人々の苦しみに無関心でいることはできません。私たちひとりひとりに出来ることがあります。

ぜひ飢餓に苦しむ隣人に私たちの愛を表しましょう。皆さまの具体的なご支援を切にお願いします。

Republic of the Philippines

サンアンドレスの人々

フィリピン駐在スタッフ 酒井慶子

「アミ、次にお客さんが来る時はアミがお料理してくれる？」山岳民族でボランティアとして活動してくれている彼女に聞いた時、彼女の答えは「私たちが作ったものはだれも食べないから」でした。山岳民族の人たちを訪れる時、それまではいつも同行して下さる低地の人たちが食事の用意をして下さっていたからです。山岳民族の人たちは村では見下げられているからセルフイメージが低いのです。心が痛みました。「大丈



アミさんとご主人のリトさん

夫、絶対食べるから。だから作って。今度私たちスタッフだけが来る時に、練習しない？」と聞いた

ら、少し考えて、こくりとうなずきました。次に村に行った日、アミさんは約束通りもうひとりのボランティアのリチェンさんといっしょにご飯とモンゴ豆とビーフンのおかずを集めて来た薪をつかって、一生懸命作ってくれました。「おいしい！」といいながらみんなが食べるとアミさんはにっこりしました。その日の午後、アミさんの家を

訪ねたとき、ふかしたさつまいもをおやつに出してくれました。自分たち自身、そんなにたくさん食べ物があるわけではないのに。マンヤンの人たちはとても恥ずかしがりやなので、関わり始めた時は私が下手なタガログ語で話し

—第4回—

アミ・リントヌガン

かけると、タガログ語を話す低地の人を呼んできていたのですが、今では彼女も時々英語を使いながら、会話ができるようになりました。2年前、村に県のサービスが来たとき、たくさんの人たちが結婚届けを出しました。県庁が遠くて出生届けや結婚届を出せていない人たちはこの日に登録します。結婚届を出す時には後見人が必要で、ご夫妻から依頼があり、主人と私はアミさんと夫のリトさんの



●酒井慶子●
2008年4月、夫の酒井保とともに持続可能なコミュニティー開発に取り組むためフィリピン・ミンドロ島に赴任。スタッフトレーニング、少数民族の識字教室などに関わる。

後見人 (God parents) になりました。

アミさんは収入改善プログラムのビーズクラフトでもリーダーとして一生懸命取り組んでいます。もっと学びたい、生活が良くなるように何かしたい、という彼女の姿勢には私たちが励まされます。自分たちには開発が必要であることを認識しているので、働きかけると乾いた土に水がしみ込んでいくように吸収し、前向きに取り組めます。

「私たちのマンヤンの集落に小さなお店を開いて、食べ物や学用品を低価で売りたい」と目を輝かせて話してくれました。今、昨年始まった収入改善プログラムのビーズクラフトの収入の貯金でお店を開く計画を始めました。

7月に日本からの訪問者があったとき、彼女は自信をもって食事を用意してくれました。

ハンガーゼロの世界を目指して …迫り来る食料危機



給食に並ぶケニアの子どもたち

今年も19カ所で世界食料デー大会開催

1981年、世界の食料問題を考える日として国連が制定した日、それが10月16日「世界食料デー」です。世界の一人一人が協力し合い、世界に広がり続ける栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決してゆくことを目的としています。

当機構もこの趣旨に賛同し、同じ志を持って協賛する全国の人々と共に行動してまいりました。今年も全国19カ所で「世界食料デー大会」が開催されるとともに

に、家庭で、学校で、職場で、教会で様々な取り組みが行われようとしています。

飢餓人口が10億人に迫る今日の世界は、人が生きていくに極めて困難を覚える状況となっています。2007年から2008年にかけて起こった世界的な食料価格の高騰は、家計に占める食費の割合が6～8割にもなるアフリカなどの開発途上国で人々の生命を脅かししました。昨年7月からは国際市場での食料価格が8ヵ月連続で上昇し、2011年2月には、史上最高値になりました。背景にあるのは世界規模での異常気象や、中東やアフリカで拡大した政治的混乱も一因と言われています。又、極めて厳しい干ばつに襲われた「アフリカの角」と言われる

ソマリア、ケニア、エチオピアでは、1,300万人もの人々が飢餓に瀕しています。

世界の善き隣り人として

日本国際飢餓対策機構は30年の間、「ハンガーゼロの世界の実現」を目指し、世界にある物心両面の飢餓撲滅の働きに取り組んでまいりました。今年も世界食料デーは、「迫り来る食料危機…ハンガーゼロの世界を目指して」をテーマに、飢餓と貧困と戦う人々の善き隣り人として、志を同じくする私たち一人一人の日常における取り組みが、この世界を変えてゆくことを信じて行動してまいります。今年も共に具体的な一歩を踏み出してゆきましょう。



わたしから始める、世界が変わる



募金協力してくださった方や大会に来られた方には、子どもニュースでおなじみの、みなみなさんの書き下ろしグリーティングカード等を差し上げます

アフリカとわたしたち



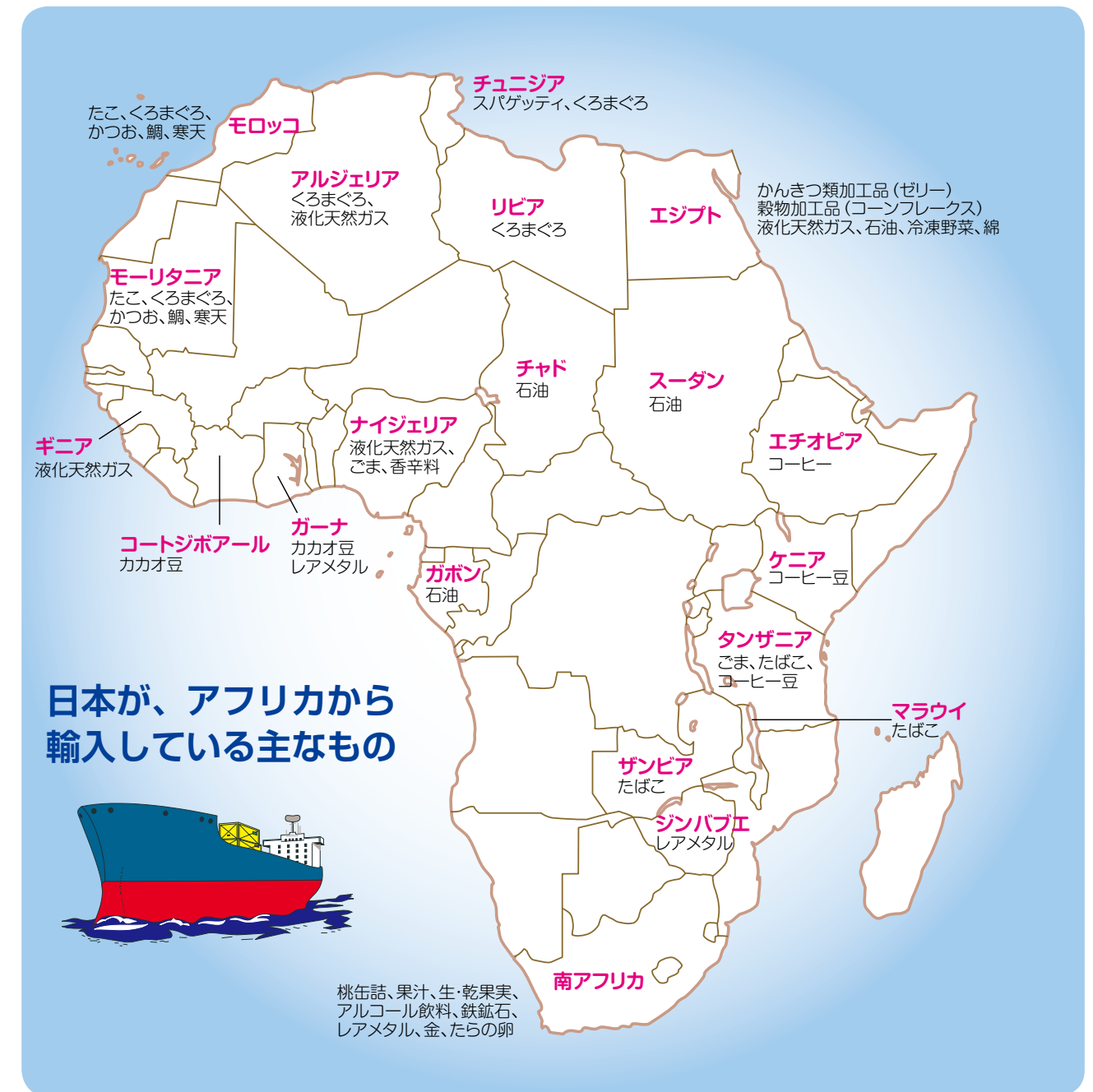
アフリカは、日本から1万km。たとえばケニアに行くには飛行機を乗り継いでおよそ15時間かかる遠い国ですが、日本とは経済的に深い関わりがあります。日本の先端産業に欠かせないレアメタル（希少金属）のアフリカへの依存度はたいへん高く、また漁業資源も多く輸入されて私たちの食卓に上っています。

また4回のアフリカ開発会議も日本で開かれていますし、フェアトレード商品やアフリカのミュージシャンの公演、アフリカ映画の

公開なども増えて、今後アフリカとの関係はますます深まっていくことでしょう。一方で、世界で49カ国ある後

発開発途上国（特に開発が遅れた国）といわれる国のうち33カ国がサブサハラ・アフリカに集中。2人に1人が1日1ドル未満で生活しています。また働く子どもの割合が4人に1人と世界でもっとも多いのもアフリカです。

子どもたちはチョコレートの原料のカカオやタバコのほか穀物の収穫、金や岩塩などの採掘をさせられたり、児童兵士として戦わせられたりします。このようなアフリカの国々から日本はどんな物を輸入しているか見てみましょう。



2010世界食料デー 昨年も全国の方々から13,871,618円のご支援をいただき、「貧困や困難な環境の中で生きる人々・子どもたちにご協力を感謝します」を支援するプロジェクト」（豊かないのちの回復プログラムなど）のために使わせていただきました。

2011 世界食料デー大会開催日程

※ JIFH= 日本国際飢餓対策機構

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務所までお問い合わせください。

大 会		事務局TEL	開催日	時 間	主な内容	会 場
神奈川	湘 南	0467-75-0542	11/6 ㊥	13:00	講演（JIFH 吉田知基） 東日本大震災ボランティア活動報告	茅ヶ崎駅ラスカ・サロン6 F
富山	高 岡	0766-21-6029	11/6 ㊥	13:30	講演（JIFH 鶴浦弘敏） 現地報告（フィリピン駐在・酒井保）	高岡バプテスト教会
愛知	名古屋	052-731-8111	10/10 ㊥	14:00	講演・報告（JIFH 吉田愛） 音楽、ダンス	名古屋文化短期大学・アッセンブリーホール
大阪	南大阪	0725-22-3585	10/15 ㊥	14:00	講演（JIFH ハンガーゼロ特別大使 秋元義彦） 現地報告（フィリピン駐在・酒井慶子）音楽	テクスピア大阪
	北大阪	06-6387-8178	10/6 ㊥	19:00	講演（JIFH 吉田知基）／音楽 現地報告（フィリピン駐在 酒井保・慶子）	チャーチオブクライスト ニュージーランド日本大阪教会
	東大阪	072-964-5144	10/24 ㊥	19:30	講演（JIFH 鶴浦弘敏）／東大阪合同聖歌隊 現地報告（フィリピン駐在 酒井保）	大阪シオン教会
	八 尾	072-997-4838	10/2 ㊥	19:00	ソン・ソルナム・フルートコンサート 現地報告（フィリピン駐在 酒井保・慶子）	グレース大聖堂
奈良	奈 良	072-997-4838	10/1 ㊥	14:30	ソン・ソルナム・フルートコンサート 講演（JIFH 清家弘久）	香芝市モナミホール
兵庫	芦 屋	0797-31-2093	10/30 ㊥	14:00	講演・現地報告（JIFH 岩橋竜介理事長）	日本イエス・キリスト教団 芦屋川教会
	宝 塚	0797-73-6076	10/15 ㊥	14:00	講演・現地報告（JIFH 清家弘久）、ミニコンサート（アフリカダンス）、ミニバザー	宝塚栄光教会
広島	広 島	082-843-5424	11/6 ㊥	15:00	講演（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 上原令子）	広島ゲバントホール
高知	須 崎	0889-43-2223	9/26 ㊥	13:30 19:30	講演・現地報告（JIFH 田村治郎）	生涯大学
鹿児島	鹿児島	099-722-0185	10/28 ㊥	18:30	講演（JIFH 田村治郎）、現地報告（麦野賦実 行委員長）、音楽、パネル展	サンエール鹿児島
沖縄	北 部	098-859-4585	10/ 7 ㊥	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	名護市民会館・中ホール
	中 部	098-859-4585	10/ 8 ㊥	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	沖縄市民会館・中ホール
	南 部	098-859-4585	10/ 9 ㊥	17:00	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	浦添市てだこホール・小ホール
	久米島	098-859-4585	10/13 ㊥	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	イーフ情報プラザ・交流ホール
	八重山	098-859-4585	10/14 ㊥	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	石垣市健康福祉センター
	宮 古	098-859-4585	10/16 ㊥	17:00	挨拶（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	宮古島市中央公民館

2011世界食料デー大会の講演・報告者ほか

◆ 現地報告者

◎ 酒井保・慶子/フィリピン駐在



日本国際飢餓対策機構の国内スタッフとして15年奉職し、2008年3月にフィリピンへ派遣。ミンドロ島における総合的な村落開発に従事している。

◆ 親善大使

- ◎ 上原令子 (ゴスペルシンガー)
- ◎ 森 祐理 (福音歌手)



◆ ハンガーゼロ特別大使

- ◎ 秋元義彦 (パン・アキモト社長)

上原令子

森 祐理

秋元義彦

◆ 講演者

- ◎ 岩橋竜介・理事長
- ◎ 田村治郎・啓発総主事
- ◎ 清家弘久・常務理事
- ◎ 鶴浦弘敏・広報主任
- ◎ 吉田 愛・愛知事務所
- ◎ 吉田知基・大阪事務所



岩橋理事長

田村治郎

清家弘久



鶴浦弘敏

吉田 愛

吉田知基

各大会では世界の飢餓問題を考える講演や国内外での活動報告、音楽、ダンスなどそれぞれ特色のあるプログラムを用意しています。ご来会をお待ちしております。



当機構は7月25日から8月6日まで、被災地の子どもたちを対象にした「子どもサマーキャンプ」を山形県の月山ポレポレファームで行いました。キャンプには小学生を中心に60名の子どもたちと共に数名の保護者も同伴。大自然の中で用意したプログラムを通して参加した子どもたちに楽しい夏休みの思い出ができました。



思い切り楽しみました 子どもサマーキャンプ

2泊3日で行われたキャンプは、当機構と共に被災者復興支援活動を行っている東京キリスト教学園の学生ボランティアがプログラムを担当。2週間キャンプ場に滞在して合計4回のキャンプ運営にあたりました。用意したプログラムは、月山自然散策、スイカ割り、水鉄砲遊び、ゲーム大会、うちわ作りなど月山の豊かな自然の中で子どもたちが身体を動かしながらできる遊び体験が中心で、裸足で芝生を思い切り駆け回ったり、水鉄砲対戦でびしょ濡れになったりする子どもたちの歓声がキャンプ場に響き渡りました。

また心のケアの観点から、キリスト教会の牧師も加わって下さって、愛し合うことの大切さを話していただき、震災復興の中にある子どもたちを励ました。

最後の第4キャンプには、仙台市若林区から小学2年生の庄子練君が祖母の庄子優子さんと参加しました。祖母の優子さんは震災で自宅が全壊となり、しばらく庭の

プレハブで子ども家族と暮らしておられました。そして自宅近くに当機構の物資倉庫（若林区卸町東）があることを聞き、食料品などの支援物資を受け取りに足を運ばれる中で子どもキャンプを知り、お孫さんと一緒にキャンプに参加されました。

私…本当に被災したの？

優子さんは「夏休みはいつも孫たちを連れて海水浴に行くのですが、震災でどこにも連れてやる機



会がなかった。それで倉庫でいつも親切にしてくださっている飢餓対策さんのキャンプだから、参加させていただきました。ええ、参加して本当に良かったです。孫の練も楽しみましたが、私も月山の

東日本大震災活動レポート



自然散策で心の疲れがとれました。本当に私たち被災したの？って錯覚を覚えてしまったほどです。それと子どもたちと一緒に水鉄砲合戦も楽しみました。私、ついつい大人げなく本気になったってねえ、今までの辛かったこと全て忘れてしまいました」かつてワンダーフォーゲル部だった優子さんにとっても夏山のキャンプ体験はひとときの心の安らぎとなりました。

「水鉄砲が楽しかった」「火花が楽しかった」「自然散策でセミの抜け殻見つけた」「新しい友だちと仲良くできた」「映画 大切なきみが良かった」など子どもたちが綴ったキャンプ日記は楽しい思い出に溢れていました。



キャンプ運営に携わってくださった東京キリスト教学園・学生ボランティアをはじめ一般ボランティアの皆さん、国分寺バプテスト教会牧師米内宏明師、千葉キリスト教会牧師後藤弘師、施設上げてご協力をいただきました月山ポレポレファーム(奥山代表)に心より感謝を申し上げます。